

令和4年度 木更津市生涯学習推進協議会第1回会議 議事録

- 1 日 時 令和4年8月2日（火） 午前10時00分～12時00分
- 2 会 場 木更津市役所朝日庁舎 会議室F
- 3 出席者 委 員：山崎誠会長、桂啓之副会長、鵜田桂子委員、秋元豊委員、
橋詰清委員、原直人委員、小林路秋委員、熊本秀樹委員（8名）
事務局：廣部昌弘教育長、秋元 淳教育部長、重城秋子教育部次長、
鈴木和代生涯学習課長、鈴木玲子係長、高石篤係長、
石川浩美主任主事（7名）
- 4 協議事項・報告事項
 - （1）木更津市生涯学習推進協議会長および副会長の互選について
 - （2）令和4年度教育委員会基本方針、生涯学習の基本目標・政策・重点施策および生涯学習関係事業について
 - ① 令和4年度教育委員会基本方針について
 - ② 令和4年度生涯学習の基本目標・政策・重点施策について
 - ③ 生涯学習市民公開講座
 - ④ 生涯学習フェスティバル
 - ⑤ 木更津市生涯学習功労者表彰
 - ⑥ 生涯学習バス「まなび」の運行状況
 - ⑦ きさらづ出前講座
 - （3）その他
- 5 配布資料
 - （1）会議次第（資料）
- 6 会議の概要

事務局 ただ今より、木更津市生涯学習推進協議会委員の委嘱状交付式を執り行います。
お名前をお呼びいたしますので、恐れ入りますが、自席でご起立下さい。なお、委
嘱状交付につきましては、市長代理として教育長から行います。

委嘱状交付— 廣部教育長

介添え—秋元部長

名前読み上げ—鈴木課長

事務局 ありがとうございました。以上をもちまして委嘱状交付式を終了いたします。

事務局 ただいまより令和4年度生涯学習推進協議会第1回会議を開催いたします。

本日の会議は委員12名中、8名の出席であり、欠席は3名、1名は選定中であり
ます。なお、本会議は、木更津市審議会等の会議の公開に関する条例施行により公開
されております。本日の傍聴人はおりません。以上報告いたします。

事務局 それでは、はじめに廣部教育長よりごあいさつ申し上げます。

教育長 みなさん、こんにちは。教育長の廣部でございます。

今朝の報道によりますと、史上最高の気温になる可能性があるとのことで、熊谷市は
40℃、千葉県でも38℃まで上がるのではないかとのございましたし、新型コロナウ
イルス感染症も非常に増えてまいりまして、日本が世界で最多の感染者数ということで、
皆様方におかれましては本当に新型コロナウイルスと酷暑・猛暑で大変お疲れの毎日を送
られているのではないかなと推察いたします。

本日は令和4年度木更津市生涯学習推進協議会第1回会議にご出席いただきありがと

うございます。日頃より本市生涯学習の推進につきまして、多大なご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。皆様方本当に様々な委員をお引き受けいただきまして、本市に対しご支援いただいておりますことに、この場をお借りして心より感謝を申し上げます。

ただいま、会議に先立ち、皆様へ委嘱状交付をさせていただきました。今期は12名の委員のうち7名が、今回初めて委員をお引き受けいただく方々でございます。再任されました委員の皆様ともども、これから2年間、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度は本市が平成31年3月に策定した木更津市第2次基本計画、また第2期教育振興基本計画も最終年度を迎え、この4年間を検証し、次の施策につなげるための大事な1年でもあります。「生涯学習」は、社会教育、学校教育、家庭教育なども含め、私たち一人ひとりが自主的、自発的に行うことを基本とした学習活動全般を包括するものです。市民の多様なニーズに応えるよう、木更津市でも教育委員会のみならず、市をあげてさまざまな施策を進めてきたところでございます。後ほど担当者より説明させていただきますが、本協議会では、生涯学習課が実施しております生涯学習市民公開講座、生涯学習バス、生涯学習フェスティバルを中心に委員の皆様にご協議いただいております。

今年度も、本市の生涯学習施策が充実するために、忌憚のないご意見をいただけますようお願い申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。よろしくお願いいたします。

事務局 続きまして、事務局職員を紹介させていただきます。

秋元淳教育部長でございます。 **秋元部長あいさつ**

重城秋子教育部次長でございます。 **重城次長あいさつ**

生涯学習課職員は自己紹介させていただきます。

生涯学習課職員紹介——自己紹介

事務局 ありがとうございます。続きまして、委員の皆様より、お手元の名簿順に従いまして自己紹介をお願いいたします。

委員自己紹介

事務局 それでは、議事に入りたいと思いますが、慣例によりまして、会長が決まるまで事務局で進行させていただきたいと存じますがよろしいでしょうか。

異議なし—委員

異議がないようですので、事務局で進行させていただきます。
協議事項（1）の「生涯学習推進協議会会長および副会長の互選について」ですが、生涯学習推進協議会設置要綱第5条により、本会の会長及び副会長は委員の互選によるとなっております、いかがとりはからいましょうか？

委員 **事務局の案があれば—委員**

事務局 それでは、事務局よりご提案いたします。

会長には 木更津工業高等専門学校校長山崎委員、副会長には木更津市図書館協議会から選出の桂委員にお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。ご承認いただける方は、拍手をお願いします。

委員 **拍手—委員**

事務局 ありがとうございます。全会一致でご承認いただきましたので、山崎委員を会長に、桂委員に副会長をお願いいたしたいと存じます。それでは、山崎会長、桂副会長、席をお移りください。山崎会長、桂副会長よりごあいさつをいただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。

山崎会長あいさつ

桂副会長あいさつ

事務局 ありがとうございます。生涯学習推進協議会設置要綱第6条により、会長に本会

議の議長として今後の議事進行をお願いしたいと存じます。山崎会長よろしく願いいたします。

山崎会長 それでは、これより進行を務めさせていただきます。

最初に令和4年度教育委員会の基本方針、次に生涯学習の基本目標・政策・重点施策、生涯学習関係事業について、それぞれ事務局よりご説明をお願いいたします。事前に資料等は送付されていると思いますが、事務局から説明を受けた後、質疑の時間を設けたと思います。それでは、説明をよろしく願います。

事務局より説明

事務局 教育委員会の基本方針

生涯学習の基本目標・政策・重点施策

生涯学習関係事業 公開講座・バス・フェスティバル等について説明

山崎会長 ありがとうございます。それでは委員の皆さんよりご質問やご意見がありましたらお願いいたします。

橋詰委員 22ページの学校教育の充実の中に「いじめゼロポスターコンクール」というものがありますが、これはどんなものなのか伺いたい。

教育長 学校教育についてですので、私からご説明を致します。私が課長だったころからやっておりますので15年くらいやっているものなのですが、小中学生にいじめゼロを目指すということでポスターを募集しております。内容的には多岐にわたり、子どもたち同士が手をつないでいる姿や、SNSの誹謗中傷をやめようといったものや色々な視点からいじめゼロというテーマでポスターを募集して、優秀作品を表彰し冊子にまとめて学校に配るという取り組みになります。

山崎会長 いじめをゼロにするための、色々な子どもさんからのアイデアをポスターとして表現してほしい、そのことを通じて子どもさんだけでなく高校生や大人もいじめについて考える機会となっているのかなと思います。

橋詰委員 ありがとうございます。

熊本委員 生涯学習市民公開講座はある程度ターゲットを絞ってやっているのか伺いたい。

課長 生涯学習市民公開講座については実施要項にも書いてあるとおり、対象は市内在住・在勤・在学者となっており、年齢は問わず市民の方々に参加いただけるようになっております。また基本的に対象は市民の方となっておりますが、房総ファミリア等にも掲載して募集をいたしますし、オンラインでの実施となりますので、市外の方が申し込んできても特にお断りはしておりません。幅広い世代の方に参加していただきたいと思っておりますが、実態としては高齢の方の利用が多い状態です。現在はオンラインとなっておりますが、元々は清和大学を会場として開催しており、大学の講堂で専門の教員から講義を聞けるというのが大きな魅力ですので、比較的年齢の大きい層の方が多いという状況です。

橋詰委員 今まで私も清和大学の講座を受けているのですが、できればオンラインではなく密を避けるような工夫をして、大学の講堂でやる方が人が集まるように感じます。オンラインだと高齢者の方で、分からない方がたくさんいると思います。ですので、講堂で先生のお話を聞く方がためになると私は思います。清和大学の了解を得られるのだったら、ぜひ大学の講堂でやってほしいと私は思います。

課長 ありがとうございます。こちらの事業は、君津学園に委託して実施している事業になるのですが、清和大学からの申し出で今年度もオンラインでということになりました。今年度の当初もコロナがどうなるかわからないという状況の中で、不特定多数の方を大勢構内に引き受けるのは、学校としてはまだちょっと踏み切れないという所が

ありまして、大学構内での実施は見合わせたいとお申し出がありました。来年度以降も、生涯学習課からはお願いはしていきますけれども、状況に合わせて可能なところから取り組んでまいりたいと思います。

山崎会長 その他、いかがでしょうか。

秋元委員 この重点項目とか施策をみると、非常に多岐に渡っていますが、1つ1つの施策について点検・評価をしているのか伺いたい。また新型コロナが急激に広がっており、今後もなくなることはないと思われるが、コロナとどのように付き合い、物事を進めていくつもりなのかを伺いたい。

課長 1つ目のそれぞれの施策の点検・評価についてですが、22 ページの取組・成果・指標に記載があるように、社会教育・学校教育全てにおいて、今年度の取組・成果・指標を定めております。これについては、年度が終わった後に私どもで点検・評価しております。その結果に沿って、それぞれの課で見直し作業を毎年行っております。

また2つ目のコロナ禍のなかでの事業の進め方については、その都度状況を見ながら検討をしております。対面の重要性というものも重々分かっておりますので、コロナのリスクを考え、最大限に対策を施しながら、出来る事はやっていきたいと思っております。

教育長 学校教育についても感染対策を徹底し、やれるものはやるという方向性で今年からは進んでおります。運動会・体育祭・修学旅行・校外学習もほとんどやっておりますが、現実的には宿泊学習等で感染してしまった学校も何校かありますので、十分な注意が必要だと思います。心配しているのは夏休みについてで、7月20日現在で、感染者が小学校で400名、中学校で約150名となっております。昨年度の例を考えますと、夏休みに入ってからの方が感染者は増えますので、家庭内でさらに増えていくというのが危惧されるところであります。秋元委員が仰る様に、コロナ感染者がゼロになることは考え辛いと思いますので、教育委員会としては様々な学校行事や生涯学習事業を開催するにはどうすればよいかという視点で進めていくことが大切なのかなと考えております。

山崎会長 ありがとうございます。今のお話ですが、感染者が何人か出た時でも、通常の授業や部活動が続けるというのは、1年前に比べると考え方がだいぶ変わってきていると思います。社会教育活動においても個々の事業単位で判断と工夫を出し合って、今までの形ではできなくても近い形・違った形で、効果的なものやっていたらと思います。他に、ご意見等がないようでしたら、本日は令和4年度1回目の会議でございますし、新たな委員になられた方も多いので、全員にご発言いただければと思います。

さきほど事務局からご説明いただいたことへの感想、ご自身の所属される団体等での課題等、なんでも結構ですので、お一人ずつお話しください。

鵜田委員 私はスポーツ協会からきておりますので、子どもたちの卓球をする姿を見る機会がよくございます。そこで上下の関係作りや挨拶等を学ぶ子どもたちの姿を感心しています。そこでもコロナ禍での変化を感じるのですが、例えば卓球の道具なども以前は古くなるとよく買い替えなどを行っていましたが、今はコロナ禍における賃金の減少の影響を受けているのか、子どもたちが欲しがってもなかなか手に入れることができないという姿も見かけております。ただそんな中でも、卓球センターでは小さな子どもが知らない大人に「こんにちは！」と元気よく挨拶をする姿などが見受けられ、道徳というものは伝わっているなと感じました。このまま成長していったほしいという安心感を持ちながら、子どもたちに接しております。

秋元委員 私は町会の関係を長いことやっております。町会がだんだん衰退していく中で、町

会の役員も団塊の世代で上がどんどん辞めていく中で減ってきております。それでは若い人達が入ってくるかというと、入ってきておりません。そういう状態の中で、例えば私の入っている町会も後5年位で終わりかなと思っております。公民館運営審議会にも在籍しておりますが、公民館は皆さんにとって垣根が低いのか、何か行事を行うと意外と気軽に来てくれます。公民館で色々活動することによって、若い人達をそこに引っ張り込み、町会などにつなげていくことが出来れば地域力のアップになるのではないかと、今自分なりにやっているところです。木更津の町会はどこも一生懸命頑張っているのですが、はっきりと申し上げると、後5年10年もすると半減してしまうのが目に見えている状況です。そういう意味でも、いかに若い人達を引っ張り込むか、地域に自治会のような組織がないと生活も大変になるという事を知らしめるためには、若い人達をどんどん公民館の事業に引っ張り込もうとやっております。しかしターゲットとなる30代40代の若い人達が、公民館で行事をやるからといって、来てくれるかというと来てくれません。一番手っ取り早い方法としては、子どもが公民館にやってくるとその親と一緒にくっついてきます。何回も来ると来やすくなって、何もなくてもやって来るようになるので、私は今、子どもの事業をいっぱいやっております。例を挙げると、公民館の窓ガラスに絵を描こうというのをやっております。お父さん方お母さん方が見に来ると、だんだんと興味を持つようになるので、子どもたちを地域や公民館の行事や事業に引っ張り込むのが一番手っ取り早い方法なのだと思います。放課後子ども教室もやっておりますが、親御さんたちにはサポーターとしてお手伝いくださるよう声をおかけしています。なかなかすぐには変わりませんが、やれば少しずつでも効果が出てきます。そういった活動の中で、地域の代表やまとめ役になる人を育てていこうとしています。公民館の、特に若い職員には、そういう危機感を持って働いてほしいと思っています。町会などの組織がつぶれてしまった場合、今までそこが担っていた仕事は全て市の仕事となってしまうので、市の職員の方々には先を見据えたお仕事をしたいと思っています。

橋詰委員 今、秋元委員がおっしゃられたように、若い人を引っ張り込むというのはシニアクラブとしても大きな課題です。今シニアクラブは、大きな曲がり角を迎えています。シニアクラブに入ってくる人たちは70代80代、それ以上の方々も入ってくるのですが、若い人達はなかなか入ってきません。木更津市には現在シニアクラブは22あり、多い時には80くらいあったのですが、だんだん少なくなってきました。入ってくる人たちが、75歳80歳85歳ばかりだと、シニアクラブが本当に高齢化してしまうので、なんとか若い人達を引っ張り込まないとならないと思っています。今、シニアの人達の一番の楽しみはグラウンドゴルフです。グラウンドゴルフをすると、体力はつくし人と話す機会にもなります。ぜひ市にも協力してもらって、若い人をはじめとしたシニアクラブの会員を、もっと増やしていかないといけないと考えております。シニアクラブの活動を通じて、独居老人を減らすことにもつながりますので、ぜひよろしくをお願いします。私は地域包括センターの方でも活動しているのですが、そちらも同じ心配を感じております。皆さん、ぜひご協力をお願いします。

桂委員 シニアクラブは年齢制限はあるのですか。

橋詰委員 年齢制限はございません。基本的には57歳以上となっておりますが、これは昔の55歳定年の影響ですので、今は特に制限はございません。

原委員 昨今、学校ではタブレットや電子黒板の導入などデジタル化の動きがあり、先生方は大変だろうと感じます。私の子どももタブレットを持って帰ってきて、Zoomで勉強をしたりしております。子どもたちは楽しんで勉強をしているのですが、それを教え

る先生方が大変そうでした。また子どもたちの見守りは、地域の方々にご協力をいただいているのですが、ここ数年参加者が減っています。それはコロナ禍の影響で交流が減り、新しく入ってくる人がいない状況となっております。PTAとしては保護者だけでは全てのカバーは出来ず、地域のボランティアの方々に支えられて、子どもたちは学校へ通い育っております。情勢を見ながら、どうやって続けていくかを考えていきたいと思います。こういった場をお借りしてPTAではない方の意見もお聞きできればと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

小林委員 木更津市文化協会でも年齢層が高くなっており、若い人達がなかなか新しく参入してきてくれない状態となっております。コロナ禍の中でも、感染症対策をとってやるときは行事をやっておりますが、行事をやることも大変ですが、やめる時も大変だと感じております。秋の文化祭を控えて、これからそれぞれの団体がどうやっていくのか、それぞれ協議をしていくかと思います。私は、木更津華道の会に入っており、木更津駅西口の階段上の展示スペースに30数年間花を活けているのですが、若い方々が忙しいのでしょうか、花を見る余裕もない状態なことを、非常に寂しく感じております。家元からは、日本の伝統文化として若い人に伝えるよういわれておりますが、その余裕がなくなっているのかなと寂しく感じます。秋の文化祭に向けて、各団体が活動をしていくかと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

熊本委員 今、世代間交流というお話を皆さんがされていましたが、私も非常に大事なことだなと感じております。ただ私は、若い人達に入ってきてもらうのではなく、私たちが若い人達の中へ入っていくことも大事だと感じております。私が今実行しているのは、とにかく若い人達に声をかける、子どもたちと一緒に遊ぶというのを心掛けています。そういう大人が増えていけば、子どもたちが将来大きくなった時に、こういった公の集まりに参加してくれるのではないかと期待を持ってやっております。世代間交流というのは大事なもののなので、学校などでも子どもと大人を結びつけるような場を作ってくれば、また将来にも結びついていくのかなと考えております。

桂委員 先の質問で、木更津の出前講座の実績が少ないのが気になって仕方なかったのですが、それを後で教えてください。私は今、地元で自治会の副会長をやっているのですが、もう十何年も継続してやっております。同じ人がやっていると、どんどん自治会が良くなっていくんですね。毎年、会長が変わっていくと全然進展がないということもございます。同じ人が続けてやることで生じるデメリットもあるのですが、同じ人が続けることによって、安定するというメリットもあるのかなと思います。

山崎会長 色々なご意見をいただき、ありがとうございます。各団体の組織状況を伺い、これまでも変化はあったのですが、コロナ禍の中でその変化が加速しているのかなと感じました。実際色々な世代の声を集めて、その中から今までと違ったやり方をお持ちの方もいるのではないかと思いますので、そういったところを発掘するのも良いのではないかと思います。

課長 桂委員からのご質問ですが、出前講座が始まってすぐにコロナ禍が始まってしまい、スタートダッシュをきることが出来なかったことと、興味を示してはいただき、申し込みはしたけれど中止になったという所も多く、伸び悩んでいるところです。年度当初の市政協力員の総会にも参加させていただき宣伝をしたのですが、一度ご利用いただけると繰り返し申し込みをされる場所もあるので、ぜひ皆様方にもお知り合いの団体などに、こういったこともやっているよとご宣伝いただけると大変ありがたく思っております。

山崎会長 どうもありがとうございました。最後に、「その他」ということで何かございます

でしょうか。それでは、予定された時間となりましたので、会議を終了したいと存じます。皆様方のご協力が無事会議を進行することができました。

事務局におかれましては、本日、審議されました意見などを参考に、木更津市の生涯学習体制充実のため一層の努力をお願いいたします。また委員各位におかれまして、豊かな生涯学習社会実現のため、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。本日の会議を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

事務局

長時間にわたり、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

事務局

今後とも本市の生涯学習活動推進のため、委員の皆様にはなお一層のご支援・ご協力をお願いいたします。それでは令和4年度木更津市生涯学習課推進協議会第1回会議を終了いたします。どうもありがとうございました。